

訓練実施日： 月 日・ 月 日・ 月 日 (総時間 h)	メモ
訓練校検定予定日： 月 日	

習 得 能 力	実 習		
	1回 ( h )	2回 ( h )	3回 ( h )
項目1：コームを使う(内側回転)			
①母指と示指を除いた指でコームの柄の部分を軽く握ることができる			
②母指でコームの背を、示指で歯先の端を押さえながら持ち内回転させることができる			
③手首のクワをきかせ、母指に力を入れてコームの背を内側(手前)に倒すように1/4回転させて水平に持ちつつ、母指と示指に持ちかえられる			
項目2：コームを使う(外側回転)			
①示指でコームの背を押さえながら、母指を手前側歯先に当てて持つことができる			
②外側へ回転を始めると同時に、母指で歯先を起こすようにすることができる			
③さらに母指に力を入れ、歯を起こすようにし、1/4回転させられる。このとき、母指と示指を持ちかえることができる			
項目3:パーティング時にコームを使う			
①垂直線ととるときに、ヘッドを使っている			
②パーティング方向にとかし、毛流にそってコームの先を当てられる			
③頭皮と歯の角度が45度以外でパーティングができる			
④目的の地点でコームを前に引いて頭毛を分けることができる			
⑤あらかじめ幅は決めておき、ロッドの太さのみ、フェルンドを頭皮にそって通している			
⑥左示指をフェルンドにそえてストランドを引き出している			
⑦ストランドを引き出すと同時にコームを持ちかえ、下側の頭毛の乱れをほぐし、ストランドの裏だけに歯元まで入れて梳かすことができる			
項目4：ベースをとることができる			
①ベース幅、ロッド幅の意味がわかる			
②ストランドの梳き方ができる			
③頭毛を一定の幅でスライスして取り出したら、コームの歯先が手前にくるようにスライス線に当てられる			
④コームを母指で押すようにして内側に回転させ、えぐるように梳かすことができる			
⑤歯元でテンションを加えながら、毛先まで梳かすことができる			
項目5:ストランドの角度をとれる			
(45度) ①ステムは最も長く、ロッドはベースよりはずれている			
②根元の立ち上がりは得られていない			
(90度) ③ステムは長くなり、ロッドはスライス線より下にてている			
④45度の場合より、根元の立ち上がりが少し得られている			
(120度) ⑤ロッドはベース内に納まる			
⑥根元からの立ち上がりは十分得られている			
項目6:上巻きができる			
①一定幅でスライスし、垂直に立てた毛束(ストランド)の裏からコームを内回転させ、テンションを加えて角度を保ったままコームを行うことができる			
②毛束(ストランド)の表側に「A」-「B」-を当て、左示指と中指でしっかり持ち、3つの指でロッドを支え、毛先をストランド「A」-「B」-は1/3ほどだすさせることができる			
③左母指をロッド側から、中指を「A」-側から押さえて持ち、離れた示指で「A」-の端を押さえてロッドにそわせることができる			

訓練実施日： 月 日 月 日 月 日 (総時間 h) \_\_\_\_\_ メモ  
 訓練校検定予定日： 月 日 \_\_\_\_\_

習 得 能 力	実 習		
	1 回 ( h )	2 回 ( h )	3 回 ( h )
④⑤のロッドにそわせた状態で、さらに母指で押さえて少しロッドを毛先に回して戻し、母指でロッドを手前に回転させると同時にベーパーの端をまきつけることができる			
⑥エンドペーパーを巻き込んだ後、両手でロッドの端を持ち、さらにテンションを加えて巻き込むことができる			
⑦母指でロッドの背を、示指で歯先の端を押さえながら持ち内回転させることができる			
⑧ロッドを安定させ、輪ゴムでとめることができる			
項目7：下巻きができる			
①一定の幅にスライスをとったら、十分にコームスルーを行い頭皮に対し、直角にスライドを保つことができる			
②エンドペーパーを毛束の上に当て、左示指と中指でしっかりと持つことができる			
③ロッドを毛束の下に当てたら、そのまま両手で毛先まで引くことができる			
④左薬指をベーパーの上側にだし、右薬指の腹側でベーパーを巻きつけ、左示指で毛束とロッドを押さえ、右中指を手前に曲げながら巻き込み、示指は手前に頭毛を押さえるようにして滑らすことができる			
⑤左母指、中指でロッドの左端を持ち、フィッシュをさらに加えて巻き込むことができる			
⑥ロッドを動かさないように安定させながら、輪ゴムを手前から根元に渡すようにつけられる			
項目8：毛先の扱いができる			
①毛先が折れないように処理ができる			
②毛先が広がりすぎないように処理ができる			
③不ぞろいの毛先でも①、②に気をつけながら巻くことができる			
項目9：ブロックができる			
①オールバックに梳かすことができる			
②第1ブロックは、ロッドの長さ程度の幅で正方形の形にとっている			
③第2ブロックは、第1ブロックの後方に直線で同じようにとっている			
④第3ブロックは、第6・第9ブロックの延長線上で決めるか、先に第3ブロックを決めている			
⑤第5・第8ブロックは丸みを帯びて耳の上までとっている			
⑥第7・第9ブロックは第5・第8ブロックの耳の後ろからセンターに向けて、やや後方がりでないブロックとなっている			
⑦第7・第4・第10ブロックは、ネープ部分でロッドの納まり具合で考えている			
項目10：センター巻きができる			
①作業姿勢が正しくとれている			
②第1ブロックから第2・第3			
③第1ブロック1本目のスライスとステムの角度に注意を払いながら巻き取っている。2本目以降はロッドとロッドの納まり・つながりに配慮した巻き納めになっている			







